

2005年度 常陸大宮市予算 総額424億3203万円

合併による事業内容を統一するという理由で、「毎年5千円の敬老年金」が77歳・88歳・100歳の時の「祝金」に改悪、敬老会補助金も大幅削減。国保税や介護保険料、水道料、学校給食費などは来年度から統一されます。地域住民の福祉・暮らしが後退しないよう全力でがんばります。



会計別	2005年度	2004年度	前年比	
一般会計	25,650,000	23,671,000	108.4	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	4,210,000	4,047,100	104.0
	国民健康保険 (施設勘定)	235,000	245,000	95.9
	老人保険	4,868,728	5,007,253	97.2
	公共下水道事業	660,000	655,000	100.8
	公営墓地	13,100	46,511	28.2
	農業集落排水事業	1,455,000	779,600	186.6
	介護保険	2,505,000	2,610,700	96.0
	簡易水道事業	837,000	1,045,500	80.1
	宅地造成事業	247,000	175,300	140.9
	戸別浄化槽整備事業	237,000	251,300	94.3
	那珂地方公平委員会	390	530	73.6
	温泉事業	403,000	-	-
	上水道事業	1,110,812	1,030,751	107.8
合計	42,432,030	39,565,545	107.2	

※2004年度の数値は旧5町村の合計額

第一回定例議会(三月議会)は三月七日から二十四日まで開かれました。常陸大宮市の二〇〇五年度予算は最終日に市議会本会議において賛成多数で可決しました。(左表)

日本共産党市議会議員団は、一般会計(反対討論：堀江鶴治議員)、国民健康保険特別会計(反対討論：金子卓議員)、農産集落排水事業特別会計(反対討論：堀江仙三議員)、介護保険特別会計(反対討論：金子卓議員)、上水道事業会計(反対討論：金子卓議員)の各予算に反対しました。

債を合せた実質的な交付税額が旧五町村の昨年の当初予算額と比較してかなり大幅な落ち込みになっていると政府の「三位一体」改革を批判。「新市建設計画」の財政計画で示された額を大きく下回った地方交付税を「基金の二〇億円取り崩し」で補ったことは今後の市財政運営に大きな問題を残す。

②支出では、敬老会の予算が大きく削減され、毎年五〇〇〇円の敬老年金が七七歳、八八歳、百歳の一定の年齢に達した時だけ「祝い金」を支給する制度に改悪されるなど福祉関係の予算が後退している。

③御前山地区の小学校を、地域住民や関係者に十分な説明と合意のないまま統廃合しようとしている。美和・緒川・御前山

金子議員が紹介議員となった
 請願が採択されました

昨年の十二月議会で統審査となつてしまつた「政府米の買い入れと備蓄を充実させる意見書提出を求める請願」(農民運動茨城県連合会県北農民センター提出：市議団は採択すべきと主張)は採択されました。

出産祝金・子育て奨励金制度を市内全域に拡大

緒川地域出産祝金および健全育成奨励金条例、御前山地域すくすく子育て奨励金支給条例(同様の制度は山方地域にもある)の廃止が今議会に提案されました。

日本共産党議員団は、少子化対策が必要とき子育て支援に逆行することは認められないと条例廃止に強く反対しました。他の議員からも廃止に反対の意見が出されました。

議論の結果、今年度は従来の制度を継続し、年度中に全市に適用する新たな条例をつくることを市は約束しました。

地区の学校給食費補助が削減されている。

④緒川地区の旧ゴルフ場予定地一二〇畝を開発する「緒川ふれあいの森」構想は、総事業費の明示もできない。緊急性もなく見直すべきである。

⑤日本共産党市議団が提出した予算要望書(一一五項目)が十分反映されていない。

歴史・公民教科書採択問題で
**共産党市議団が
 教育長に要請**

今年八月までの間に、全国一

一般質問

今議会の一般質問は十八人が通告、三日間かけておこなわれました。日本共産党の四人の市議団は全員が一般質問をし、市民の暮らしと利益を守るために奮闘しました。(質問順)

○押久保一郎議員の質問項目
 一、御前山小学校の統合について
 二、歴史民俗資料館の早期建設について
 三、医療福祉費助成事業について
 ○堀江鶴治議員の質問項目
 一、農業振興の諸問題について
 二、緒川ふれあいの森構想について
 三、緒川工業団地の今後の見通しについて
 四、福祉施策教育予算・土木建設事業について
 ○堀江仙三議員の質問項目
 一、地球温暖化対策について
 二、国民保護計画について
 三、介護保険について
 四、保育料について
 五、指定管理者制度について
 ○金子卓議員の質問項目
 一、「三位一体改革」と新市まちづくりについて
 二、児童虐待について
 三、「健康日本21」地方計画について
 四、福祉タンスの利用範囲について

**日本共産党
 常陸大宮市議会報告**

2005年5月 第2号 発行/日本共産党常陸大宮市委員会

金子卓(岩崎272) TEL(52)2422
 堀江仙三(鷺子148) TEL(58)2718
 堀江鶴治(大岩23) TEL(56)3030
 押久保一郎(長倉1777) TEL(55)2550

齊に中学校教科書の採択がおこなわれます。今回も「新しい歴史教科書をつくる会」の歴史・公民の教科書(扶桑社版)が文部科学省の検定に合格しました。

「つくる会」の教科書は、アジア諸国に対する侵略戦争を賛美し、日本国憲法を否定しています。こんな教科書を子どもたちに渡すことはできません。

日本共産党市議団は五月十日、坂本教育長に会い、「教科書採択に関する要請書」を手渡しました。懇談のなかで市議団は、「つくる会」の歴史・公民教科書は絶対に採択しないよう強く要請しました。

○第一回定例議会(六月議会)は六月九日に開会します。傍聴をお待ちください。